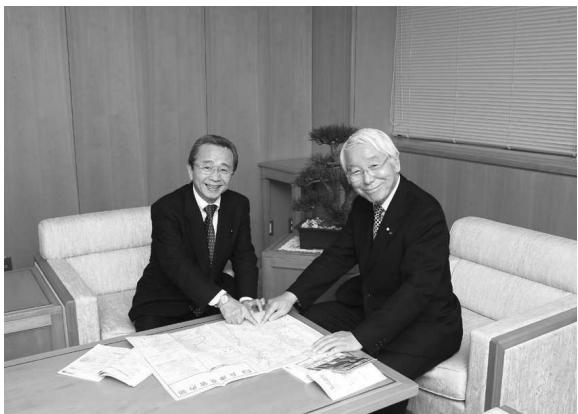


# 春名哲夫

## 県政報告

第13号

■発行日 平成27年1月11日 ■発行者 春名哲夫



### 地方創生

いよいよ地方のやる気と力量が試される年になります。

鳥取県選出の石破茂大臣は、ありません。過疎対策事業債まち・ひと・しごと創生本部で「地方のしっかりと取り組みには、地域経済分析システム等の情報支援や国家公務員等による人的支援、さらに財政支援により全力で支援する」とコメントされています。そして政府は全国自治体に「人口減対策」「地方版総合戦略」の策定を2016年3月までに求めております。

日本全体も人口減、兵庫県でも一日に20人の人口減です。しかし東京は人口も経済も一極集中傾向であります。今こそ都市部と地方のバランスを取りるために、より地方の元気造りが求められます。それが地方創生であります。



東京・大阪・神戸等の人口を地方に分散させなければなりません。このチャンスを合併10年、宍粟立藩400年、播磨国風土記編纂1300年の宍粟市の維持と発展を創り上げ、自觉と責任を持つて将来の宍粟市を見据えなければなりません。下図は県内で地域の人口が減り生活や生産機能の維持が困難になるとされる「過疎地域」を表しておりますが、波賀町と千種町だけの問題だけでは

**高齢者対応のC C R C**です。新しい暮らしのモデルであつて、住宅とヘルスケアがセットになった地域づくりであります。健常な時から地域に溶け込み必要なサービスを受け、人生最後まで過ごす事が出来る生活共同体（地域）で米国では人気を集めています。是非講演会を開催して研究を進めたく思つております。鉄道を起動する目的ではなく街づくりの為の手段とご理解頂きより良い案と一緒に考えていただけませんか。

**その一**は、宍粟市から市外出ない事、その為には宍粟市で生活できる状況つまり仕事であります。「しごと」が人を呼び、人が「しごと」が呼び込む好循環を確立しなければなりません。

**その二**は、出ていても帰つて来る事、ふるさとの醸成であります。生まれたところ、育ったところ、勤めた会社、深き思いの場所、全てが故郷宍粟です。

宍粟市に於いて社会基盤整備は10年以内の目途が立ちました。ドクターへりも完備することが出来ましたが、更なる医療・福祉の充実、そして教育の充実等が、最低限魅力ある宍粟と言えるのではないでしょうか。

これらの課題に、県議会の立場で全力投球いたします。

東京都武藏野市にある学校は障害を個性と捉え混合教育で成果を上げ全国から入学申し込みがあると聞いております。私は平成11年に学校教育633制を543制に考えるべきと言つておりましたが、今の思いは單なる小中連携でなく完全な小中一貫教育です。1年生から9年生まで一つの学校にインクルーシブを導入し全国募集するのです。

二つ目は

私は宍粟市に列車軌道の夢を持つておりますが、夢でなく実現する為にまず一つは、**宍粟市教育特区**はいかがでしょう。

昨年2月障害者の権利に関する条約が批准されました。わかりやすく言えば障害を持つ者・持たない者一人一人が人間として学べるインクルーシブ教育です。混合教育と言つてもいいでしょう。

私は宍粟市に列車軌道の夢を持つておりますが、夢でなく実現する為にまず一つは、**宍粟市教育特区**はいかがでしょう。

“想い”

# 4回目の一般質問登壇（平成26年12月9日）

平成27年1月

一期4年間で最高4回の一般質問が出来ました。

今回の質問項目は

1、地方創生に向けた市町の総合戦略について

2、本県の農林水産業の振興

\*農林業への就業支援について  
\*ひょうじ農林水産ビジョン2020の見直しについて

3、高次脳機能障害・認知症対策の推進について

\*高次脳機能障害対策について  
\*認知症対策について

内容は

## 1) 地方創生の項目について

春名哲夫県政報告

### 問

「地方再生法の一部を改正する法律」の地方創生関連2法が成立し、今後国に於いて長期ビジョンと総合戦略を策定し各自治体でも地域の特性を踏まえて「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定する。県として今後各市町の戦略策定はどう関わるか？

### 答

地方創生は人口減少や東京圏域一極集中に歯止めをかけ地域の元気造りが目的であると理解している。市町自らが主体的・独創性を發揮するのが基本であるが県としても長期ビジョンや地域大作戦・ふるさと推進費等



## 2) 農林水産業について

### 問

含め、情報提供しながら市町と連携して二人三脚で取り組んでゆく。

## 3) 高次脳機能障害及び認知症

### 問

高齢者の4人に一人が認知症又は予備軍である、よって国家戦略と位置付けられた安倍総理。高次脳機能障害や認知症対策には西播磨リハビリテーションセンターの指導と連携の下「認知症力フェ」NPOひまわりの家の支援に敬意を表する。認知症力フェの必要性を思いそれぞれの地域で取り組むNPO等の活動の充実に支援が必要と考えるが？

### 答

H18年総合リハビリセンターを高次脳機能障害の支援拠点として位置づけしている。今後も相談支援する職員の派遣や地域支援拠点の拡大や支援機関の資質の向上等進め、高次脳機能障害の支援の充実に努めてゆく。

### 答

農業や林業の維持活性化には現行の支援に加え、新たな制度を取り入れて、生活できる環境を整え、レターンやイターンと言った移住による新規就業者増加の流れを加速させる必要があるが県の考えは？

### 答

技術や専門知識を取得する研修や設備投資等への無利子貸付のほか、就農後の地域溶け込み応援や林業の月給制導入を推進するなど各般の

知事に提案する

移住対策：井戸知事に提案を致しました。

宍粟市に阪神間から移住希望があり

空き家住まい出来たとする。次は仕事です。農業・林業に従事して生活を営む為田植機を買う、或は木材搬出自動車を買

う、当面の資金が必要、よって銀行に借入申し込み、すると収入は？ 売り上げは？ 担保は？ と当然断られる。

それが現状である。よって移住者対応を含め、人口分散田舎暮らしを可能とする全国初の融資制度・「兵庫県版ファンド」を立ち上げるべし、各地方の行政が出資し兵庫県も半分乗っかり保証協会も後押しする。従事者減少の中、少々の補助や援助で農業や林業は守れない。生活出来ない。国の安定を求めるなら地方の農業・林業対策は非常に重要である。

そう言つて観点から提案しているのが農業版設備の貸与の制度化である。借入して参入すれば返済等従事者一人がリスクを負う、そういう仕掛けだから新規参入がむずかしい、せめて設備を貸す・借りる仕組みが必要と石破大臣に会ってお願いした時関心を示された。國で制度化してほしいが、出来なければ県単独でも創設したいと思う。

知事

その他知事は東京の会社より宍粟市（地方）の会社の法人税を低く（安く）せよとの提案もされている。法人企業の移転・人と仕事に関しても、さすが井戸知事、凄いと思いました。今後も前向きに提言等してまいります。

# 兵庫県が誘致活動・スポーツ等

2016年

## G8サミット日本で開催決定（主要国首脳サミット）

兵庫県と神戸市で神戸サミット誘致に名乗りを上げております。

昨年の10月24日には

「2016年主要国首脳会議の神戸開催を求める決議」

を兵庫県議会で採択しました。主旨は

○多文化共生の発信

○阪神淡路大震災復興で蓄積した防災減災文化の普及

○医療産業を含め科学技術基盤を世界と共有

○海上文化都市神戸と世界を結ぶ結節点の形成

などあります。

2017年9月

## 日本スポーツマスターズ兵庫県開催（決定）

ソフト・バレー・テニス等13種目 35歳以上の競技志向の生涯スポーツで関西マスターズの前哨戦であります。

2019年

## ラクビーワールドカップ国内各地で開催決定

オリンピック、パラリンピック・サッカーワールドカップと並んで三大国際スポーツイベントであります。

国内10→12か所の内兵庫県は、神戸市兵庫区（ノエビアスタジアム）で立候補しており、本年3月には正式発表、期待しております。

## 2020年 東京オリンピック、パラリンピック（決定）

オリンピックは7月24日（金）～8月9日（日）パラリンピックは8月25日（火）～9月6日（日）兵庫県でも参加するアスリートの育成に取り組んでおります。

# 2021年5月 関西ワールドマスターズゲームズ決定

県政報告第8号に記載しましたが、昨年12月18日「一般社団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会」の法人設立登記が完了してその組織委員会の顧問に就任しました。

会場は関西一円ですが宍粟市では音水湖でカヌー競技を誘致したいと考えております。

兵庫県決定との報告を聞いた時、昨年の9月7日を思いだしました。

「トウキヨウ！」オリンピック東京誘致決定瞬間です。その時は日本中がときめきました。日本中が一つになって拍手をしました。

ご承知の通り今回の日本スポーツマスターズは生涯スポーツの普及や振興を図り日本一を競うもの

になりますが、一方で私は一つになる事が大切であると思っており

ます。その意味は野球やソフトボールのチームメンバーは優勝と言

う目的で一つになる、それを取り巻く或は応援する地域が一つにな

ると言うことだと思っておりま

す。個人プレーの競技だって家族、親

戚、友達が一つになって応援する。

このようなことから私は宍粟市ですがソフトボールの宍粟市選抜チームが作れないかなと考えております。つまり地域は一つの心で、と言う事ではないでしょうか。

地方分権が問われている中、このような感覚が今からの地方政府には大切であります。どうか2017年の盛会に向けて議会も応援いたしますので皆さんのご協力ご支援をお願いして私からの挨拶とさせていただきます。

昨年11月23日、日本スポーツマスターズ兵庫県開催イベントが神戸の「しあわせの村」であつました。

私は文教常任委員会の副委員長として出席し、井戸知事と共に久寿玉開披とお祝いを申し上げました。一字一句違いますが内容は下記の通りです。



## 日本スポーツマスターズ兵庫県開催イベント

文教常任委員会の春名です  
一言ご挨拶を申し上げます。今年

の5月より誘致活動しております。  
た日本スポーツマスターズが2017年兵庫県開催決定となりました。今までの知事はじめ関係部局の皆さんのご尽力に敬意を表しながら皆さんと一緒に喜びを分かち合いたいと思います。

兵庫県決定との報告を聞いた時、昨年の9月7日を思いだしました。「トウキヨウ！」オリンピック東京誘致決定瞬間です。その時は日本中がときめきました。日本中が一つになって拍手をしました。

ご承知の通り今回の日本スポーツマスターズは生涯スポーツの普及や振興を図り日本一を競うものになります。その意味は野球やソフトボールのチームメンバーは優勝と言ふ目的で一つになる、それを取り巻く或は応援する地域が一つになります。個人プレーの競技だって家族、親戚、友達が一つになって応援する。このようなことから私は宍粟市ですがソフトボールの宍粟市選抜チームが作れないかなと考えております。つまり地域は一つの心で、と言ふ事ではないでしょうか。

地方分権が問われている中、このような感覚が今からの地方政府には大切であります。どうか2017年の盛会に向けて議会も応援いたしますので皆さんのご協力ご支援をお願いして私からの挨拶とさせていただきます。

# ～一期4年間の足跡～

平成23年6月11日県議会就任してから議員の皆さんに宍粟市を知つて頂く為、「県職員同行」にて、毎年宍粟市に来ていただきました。また議員として最高4回にわたる一般質問の機会を得ることが出来大変感謝しております。

## 常任委員会配属

平成23年度 総務常任委員会

(土方ふれあいの館)

平成24年度 農政環境常任委員会

(丘原地区ほ場整備)

平成25年度 総務常任委員会（副委員長）

(国見の森)

平成26年度 文教常任委員（副委員長）

(千種高校)(山崎西小)

## 質問・県政報告（地域別は除く）

平成23年6月23日……一般質問（第一回目）

平成23年10月23日……県政報告会 防災センター

平成24年3月（8日間）……予算特別委員会登壇

都市計画見直し

判断（山崎町の

区画整理）は市

にゆだねるべき

だと提言してお

ります。

2014年(平成26年)12月28日(日) 播磨 姫路 兵庫 24

**井戸知事インタビュー**

**阪神大震災20年**

**建設替えも補助対象**

**防災ベッド普及へ新制度検討**

**住宅耐震化**

井戸知事は20年、月に2回以上震災の発生を想定して、防災訓練や避難訓練などを実施する。また同日、新聞記者会見の新規記事であります。また同日、都市計画見直しす。また同日、判断（山崎町の区画整理）は市にゆだねるべきだと提言してお

ます。また同日、都市計画見直しす。また同日、判断（山崎町の区画整理）は市にゆだねるべきだと提言してお

ります。

(H26.12.28 毎日新聞掲載より)

## 事務所のご案内

〒671-2576

兵庫県宍粟市山崎町

鹿沢237-5 (HTOビル2F)

TEL.0790-63-0770

FAX.0790-63-0760

E-mail info@harunatetsuo.jp (春名直通)

office@harunatetsuo.jp (事務局)

URL http://www.harunatetsuo.jp/

春名哲夫

検索

常任委員会を選ぶ時、「私には目的があります」とあります。

した。例えば一年目の「総務」は兵庫県全体を把握し、委員会メンバーに宍粟市の現状を見て頂くため。二年目の「農政」は丘原地区ほ場整備に伴うバイパス工事早期着工を。三年目の「総務」は国見山を日本一にしたい。

四年目の「文教」は千種高校の存続と伊和高校・山崎高校の充実のためなど、思い通りの

常任委員会に所属できました。

また一般質問等、質問・質疑に於いては回数も重要ですが、提言することが議員本来の姿であると思つております。

例えば最近では、昨年10月15日、決算特別委員会での県土整備部に対する質問内容は、

山崎断層を気にしながら「住宅の耐震改修が進んでいない、改修したくても出来ない家庭

がある、防災ベッド等、考えるべきである」と対して、後日「新制度を検討する」との知

事記者会見の新規記事であります。また同日、

山崎断層を気にしながら「住宅の耐震改修が

進んでいない、改修したくても出来ない家庭

がある、防災ベッド等、考えるべきである」と

## 平成27年度 宍粟市に関する西播磨県民局の事業の一部を紹介

### 国道29号沿線活性化を戦略的に展開する〔新規〕25,300千円

#### ①森林セラピ－事業等の推進

H28グランドオープンに向けた宍粟市の取組みを支援

- セラピ－ロード整備…ウッドデッキ設置、ウッドチップ舗装等のセラピ－ロード整備支援（1/2補助）

- P R活動支援……モニターツアー実施支援、健康づくりチャレンジ企業（100千円補助）の利用促進等

#### ②音水湖の利活用

東京五輪・ワールドマスターズ開催を見据えたカヌー競技場、音水湖の整備

- カヌー競技場施設整備…大規模大会開催に向けた必要施設整備（発着場、駐車場等）の検討・整備

- カヌー合宿・大会誘致活動…利用促進パンフレット作成、DM発送等P R活動

- ダム湖畔公園リニューアル整備…展望広場、湖畔公園の環境整備、遊歩道整備等

#### ③氷ノ山観光の推進

氷ノ山登山「R29宍粟ルート」の整備

- R29からのアクセス整備…国有林道「坂の谷線」の簡易改修、R29から登山口への送迎車運行

- 登山ツアーの開催……宍粟から登る氷ノ山のP R展開、ニーズに合わせた登山コース設定

#### ④R29の賑わいづくり

「道の駅はが」のツーリズム拠点としてのリニューアルと沿線地域の交流促進

- R29バイクロードの推進…バイク駐輪場の整備（道の駅はが等）、優待制度やP R映像作成などソフト事業

- 日本風景街道の登録…民間団体等も幅広く加えた勉強会の開催等登録に向けた取組み推進

- 「道の駅はが」リニューアル…ツーリズム、セラピ－拠点機能（市・県）

- 耐震改修トイレ（国）、レストラン（市）

- 交流促進事業実施…福ロードスタンプラリー、他府県ナンバー優待キャンペーン、ミニFMでの相互P R等の実施

- 食や自然イベント開催…カヌー祭り、鮎＆素麺まつり、自然薯グルメフェア、原不動滝のみじまつり等

他にも「ちくさ湿原クリンソウ群生地」魅力アップ事業にも支援いただきます